

I. 胃集検全国集計

II. 大腸集検全国集計

III. 食道集検および肝胆膵集検全国集計

日本消化器がん検診学会全国集計委員会

北川 晋二, 宮川 国久, 宇都宮 尚, 小川 眞広,
齋藤 洋子, 瀬川 昂生, 長田 裕典, 平田健一郎,
藤井 久男, 松田 徹

はじめに

全国集計委員会が担当する全国集計は、今回でその23回目にあたる。平成17年度の調査は昨年度と同様に、調査票を送付する方法に加え、コンピューター入力用プログラムを送付しフロッピーディスクにて回答を求める方法も行った。

I 胃集検全国集計成績

1. 胃集検全国集計対象機関の区分と機関別受診者

検診機関を区分別にみると、検診の統計をよく行っているI群の割合は、間接集検機関では254ヵ所中218ヵ所(85.8%)、直接集検では202ヵ所中162ヵ所(80.2%)であった(表1)。

平成17年度の受診者総数は、5,901,031人で、発見胃癌の実数は5,338例(0.090%)であった。精検受診率を100%とした場合の推定発見胃癌数7,881例(0.134%)であった(表2)。

胃集検の受診者総数の年次別推移をみると、図1に示すように平成17年度の受診者総数は、前年度と比べ約4万人、0.7%増加した。

2. 撮影方法

胃X線撮影法について検診機関数を分母にしてみると、撮影枚数は間接集検では6枚が0.8%、7枚が38.2%、8枚以上が58.6%で、増加傾向を示し、学会の勧告した標準枚数がかかなり定着していると考えられた(図2-a)。200%以上のバリウムを用いている施設は、間接集検で62.6%、直接集検で70.7%を占めていた(図2-b)。バリウムの量は間接集検、直接集検とも、131~150mlが最も多く使われており、少量の高濃度バリウムで検査する施設が増加していた(図2-c)。バリウムの濃度と量の関係を図2-dに示すが、負の相関を示し、相関係数は間接集検で-0.59、直接集検で-0.61であった。

撮影者については、間接集検では、医師が撮影する機関は0.8%、技師が行う機関は96.0%、両者で撮影するもの1.2%であった。直接集検では医師が2.5%、技師は85.1%、両者が9.4%であった(図2-e)。

3. 読影状況

読影状況についてみると、ダブルチェックを行っていない機関が間接集検で9.1%、直接集検で15.3%あった(図3-a)。認定医の有無についてみると、間接集検を行っている検診機関では63.0

表 1 胃集検全国集計対象機関の区分 (平成17年度)

	機関数	
	1) 間接集検	2) 直接集検
性・年齢別に受診者、要精検者、精検 Ⅰ群 受診者、発見胃癌患者が把握され、且 つ癌患者の個人票の揃っているもの	218 (85.8 %)	162 (80.2 %)
Ⅱ群 性・年齢別に集計されていないもの 及び集計数のみ判明するもの	36 (14.2 %)	40 (19.8 %)
計	254	202

(注): 1)間接X線撮影による胃集検のこと

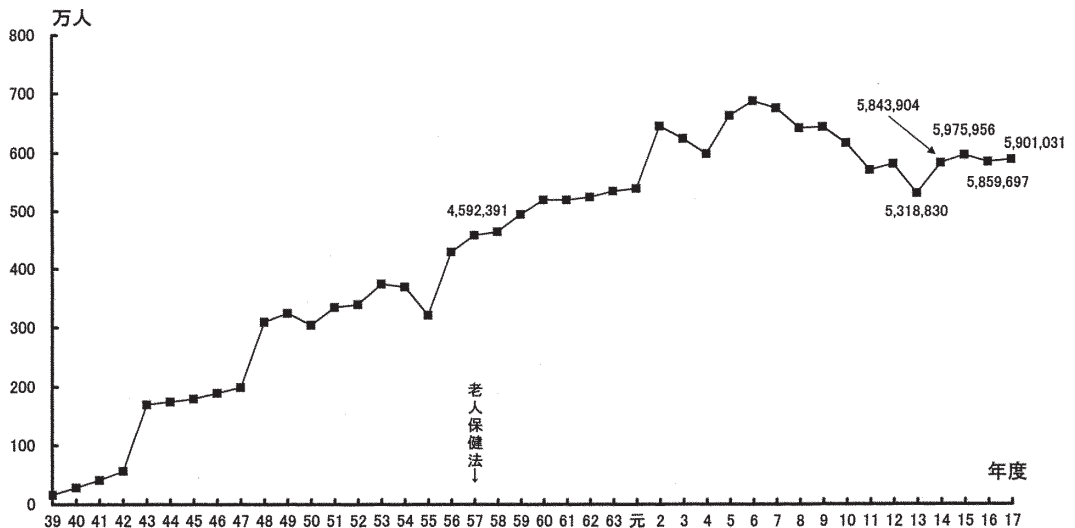
2)直接X線撮影による胃集検のこと

表 2 対象機関別受診者数と発見胃癌数
(平成17年度, 男女計, 間接, 直接の合計)

区分	受診者数	発見胃癌数 (実数)	率	(推定数)	(推定率)
Ⅰ群	5,378,531	5,283	0.098 %	7,394	0.137 %
Ⅱ群	522,500	55	0.011 %	487	0.093 %
総計	5,901,031	5,338	0.090 %	7,881	0.134 %

* 推定率は各群の精検受診率(Ⅰ群71.4%、Ⅱ群11.3%)を100とした場合、未受診者も
受診者と同じ率で、胃癌が発見されるものとして算出したもの

図 1 胃集検の年度別集計対象数の推移 (昭和39年度～平成17年度学会による全国集計)

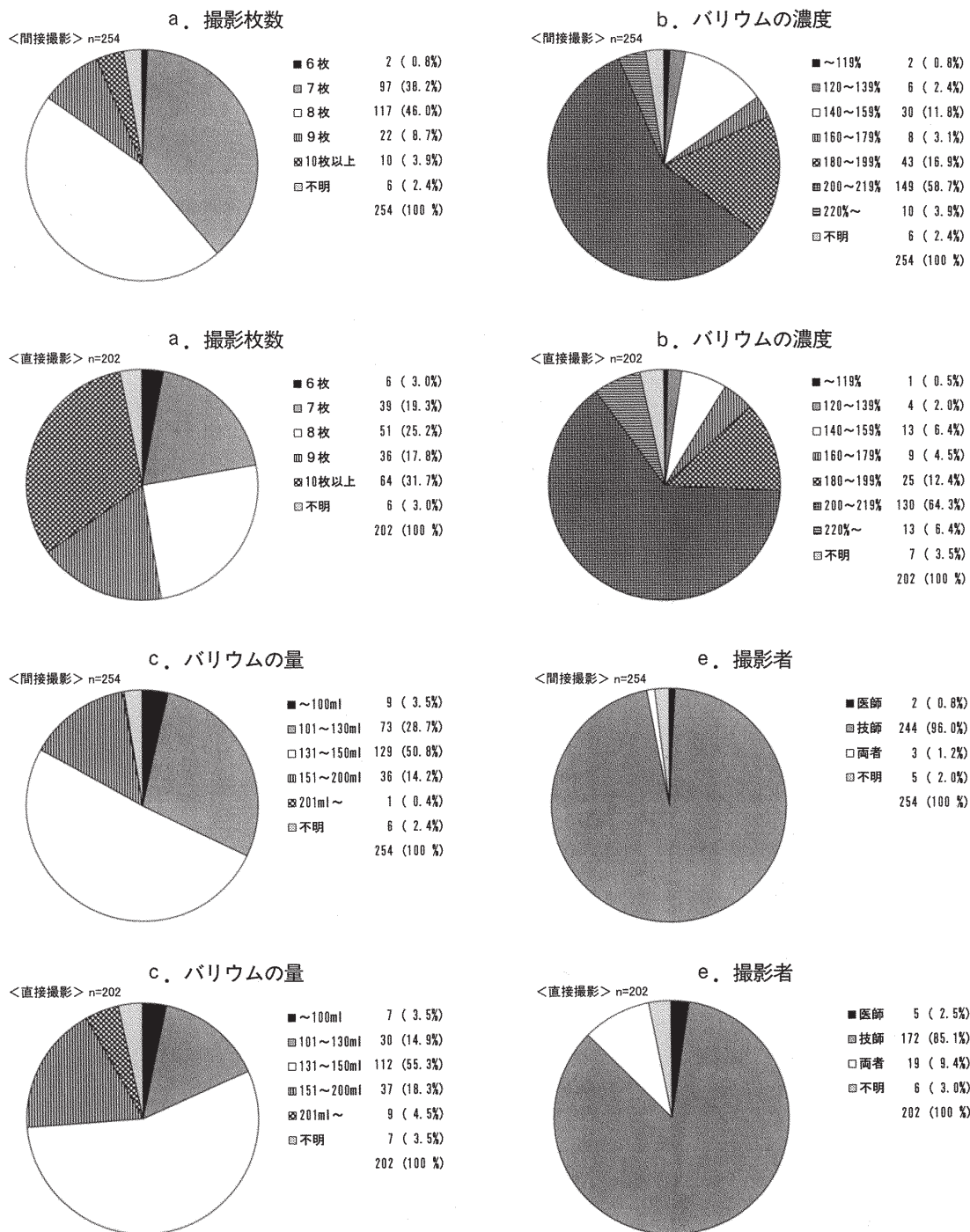


%, 直接集検の機関では, 52.0%に認定医がいる
という状況であった (図3-b)。

4. 精検以後の管理

精検以後の管理の方法について, 間接集検の場
合について述べると, 精検の実施方法では, X線

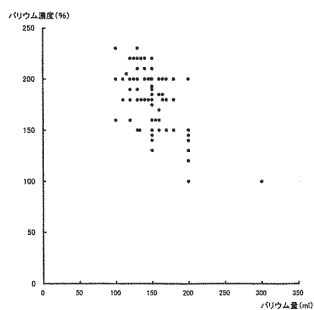
図2 撮影方法



d. バリウムの濃度と量

図2 撮影方法

<間接撮影> d. バリウムの濃度と量



d. バリウムの濃度と量

図2 撮影方法

<直接撮影> d. バリウムの濃度と量

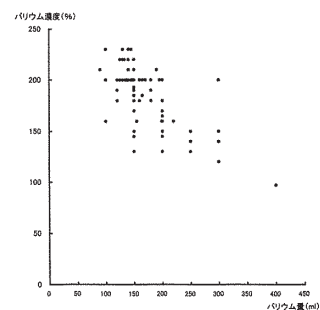
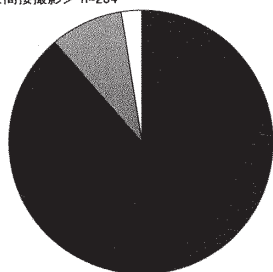


図3 読影状況

a. ダブルチェック

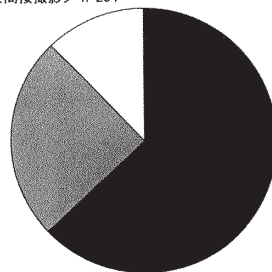
<間接撮影> n=254



■ している	225 (88.5%)
□ していない	23 (9.1%)
□ 不明	6 (2.4%)
	254 (100%)

b. 認定医

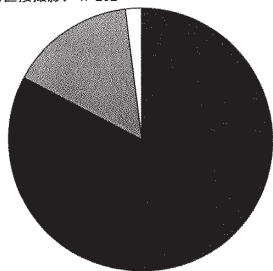
<間接撮影> n=254



■ いる	160 (63.0%)
□ いない	63 (24.8%)
□ 不明	31 (12.2%)
	254 (100%)

a. ダブルチェック

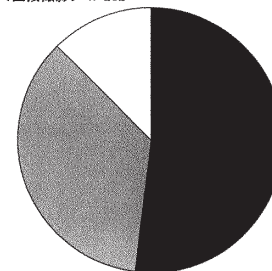
<直接撮影> n=202



■ している	167 (82.7%)
□ していない	31 (15.3%)
□ 不明	4 (2.0%)
	202 (100%)

b. 認定医

<直接撮影> n=202



■ いる	105 (52.0%)
□ いない	72 (35.6%)
□ 不明	25 (12.4%)
	202 (100%)

表3 地域・職域検診別の集検成績

(I, II群, 間接・直接集検, 男女合計, 平成17年度)

	地域検診	職域検診	計
検 診 数	2,793,015	2,899,619	5,692,634
要 精 検 者 数	285,580	228,004	513,584
要 精 検 率	10.2 %	7.9 %	9.0 %
精検受診者数	226,509	114,977	341,486
精 検 受 診 率	79.3 %	50.4 %	66.5 %
発見胃癌数	4,127	1,025	5,152
発 見 率	0.148 %	0.035 %	0.091 %

図4 精検後の管理

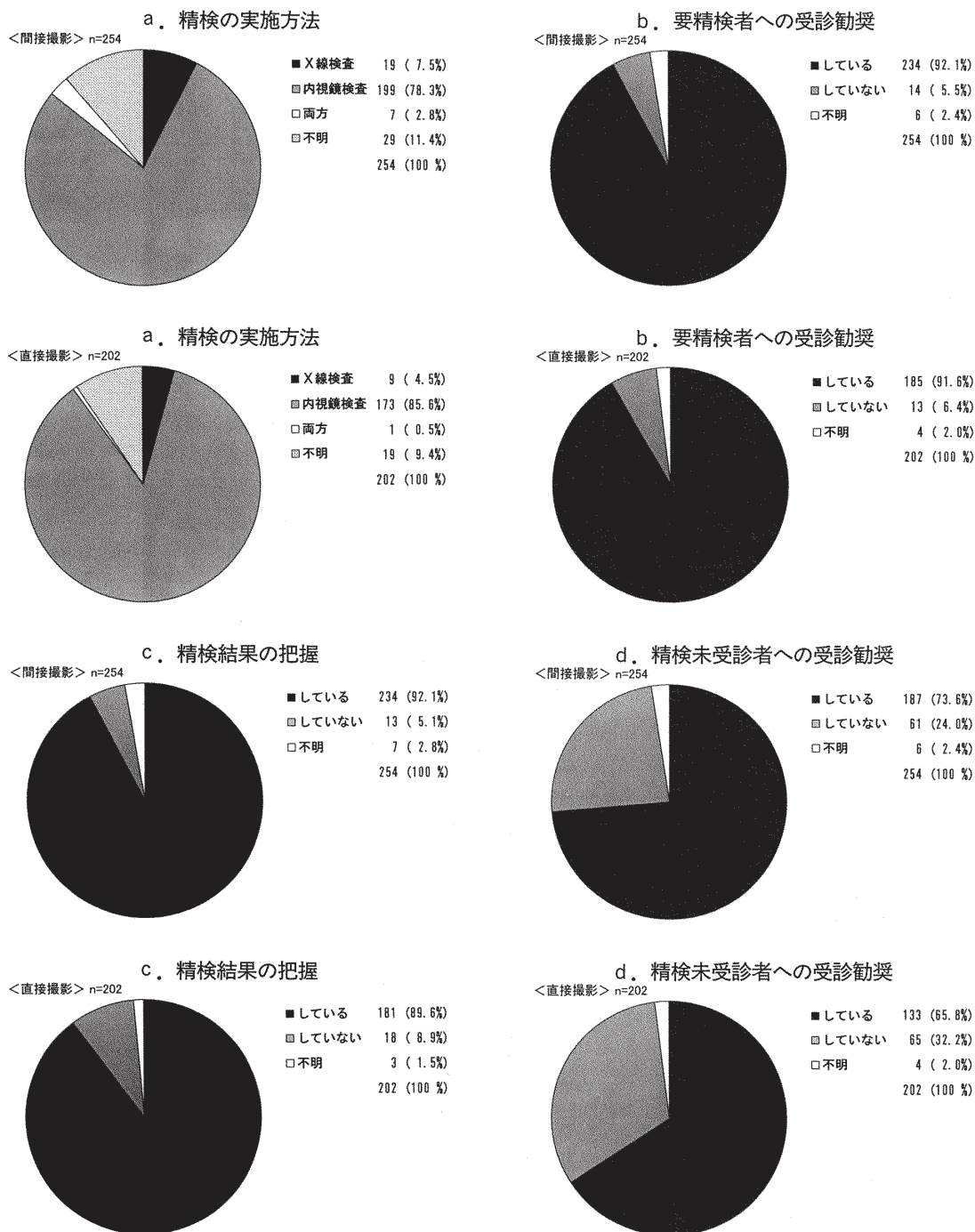
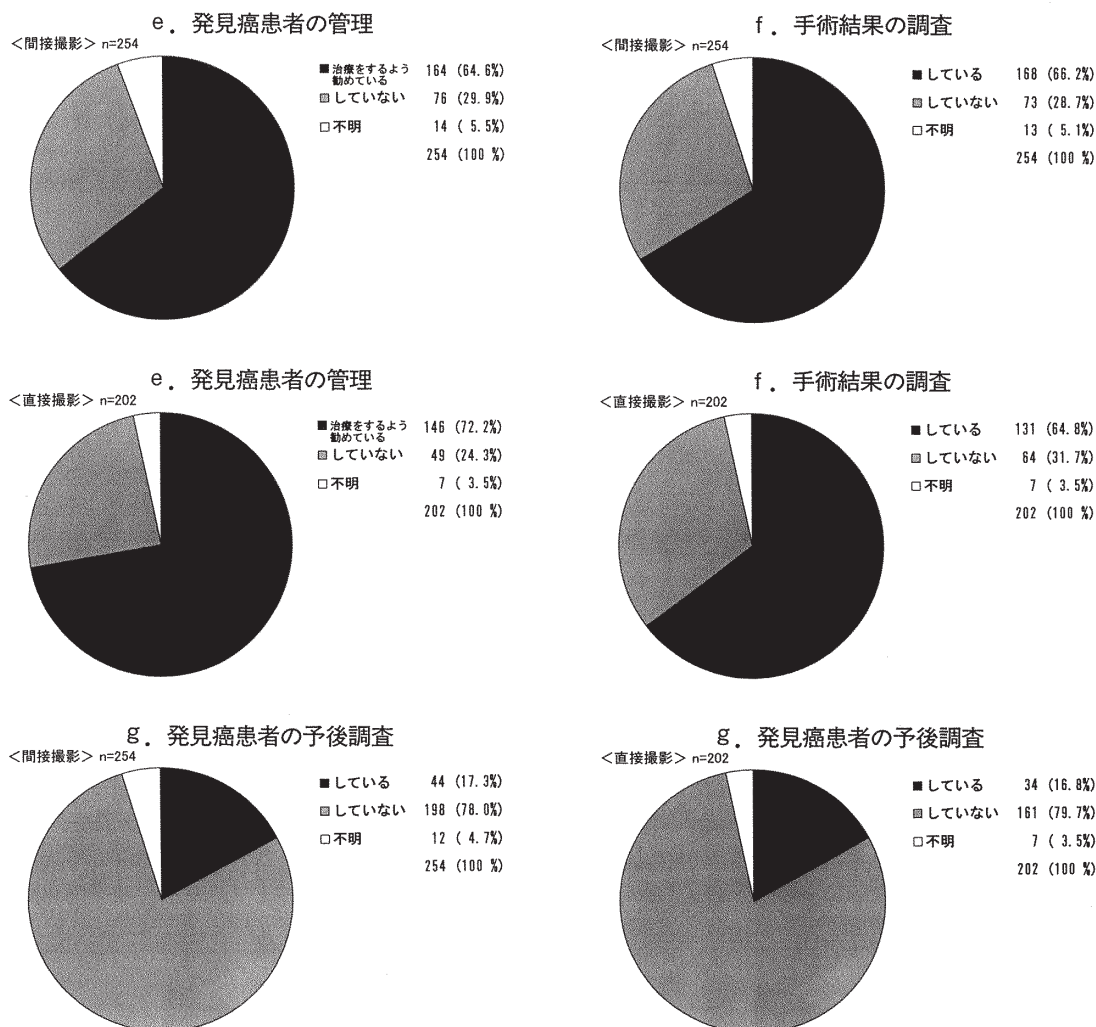


図4 精検後の管理



検査であるもの7.5%,内視鏡検査であるもの78.3%,X線検査と内視鏡検査両方を施行しているのは2.8%であった。要精検者に対する受診勧奨をしているのは92.1%(図4-b),精検結果の把握をしているところは92.1%(図4-c),精検未受診者への受診勧奨を行っているのは73.6%(図4-d),発見胃癌患者への治療の勧奨を積極的に進めているところは64.6%(図4-e),手術結果の調査をしているところは66.2%(図4-f),またその予後調査をしているところは17.3%であった

(図4-g)。直接集検の場合は,発見癌患者への治療の勧奨をしているところが72.2%,手術結果の調査をしているところは64.8%,患者の予後調査をしているところは16.8%であった(図4-e~g)。

5. 地域・職域検診別および間接・直接集検別の成績

地域検診と職域検診に分けて検討すると,地域検診が2,793,015人,職域検診が2,899,619人で前

表4 地域・職域検診別の集検成績
(Ⅰ,Ⅱ群,間接集検,男女合計,平成17年度)

	地域検診	職域検診	計
検 診 数	2,612,169	1,839,513	4,451,682
要精検者数	267,560	144,711	412,271
要精検率	10.2 %	7.9 %	9.3 %
精検受診者数	213,571	69,679	283,250
精検受診率	79.8 %	48.2 %	68.7 %
発見胃癌数	3,884	550	4,434
発見率	0.149 %	0.030 %	0.100 %

表5 間接・直接集検別の集検成績
(Ⅰ,Ⅱ群,男女合計,平成17年度)

	間接集検	直接集検	計
検 診 数	4,520,049	1,380,982	5,901,031
要精検者数	416,451	110,418	526,869
要精検率	9.2 %	8.0 %	8.9 %
精検受診者数	285,671	63,512	349,183
精検受診率	68.6 %	57.5 %	66.3 %
発見胃癌数	4,496	842	5,338
発見率	0.099 %	0.061 %	0.090 %

図5 性・年齢階級別受診者数(平成17年度)
(地域,職域,直接・間接合計)

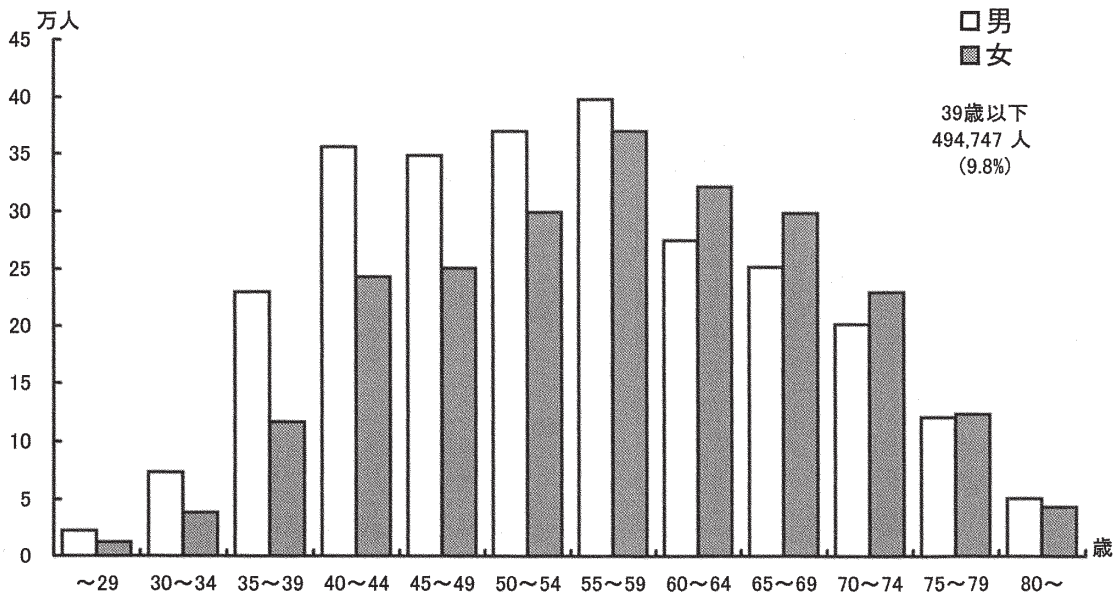


表6 性・年齢別胃集検全国集計成績—男性—直接・間接，地域職域集検合計（平成17年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 集検受診者数	2,713,237	22,620	73,828	230,193	356,267	348,571	369,966	398,231	275,134	252,022	201,683	120,735	50,984	13,003
B 要精検者数	273,222	751	3,030	11,082	23,802	29,489	37,407	45,546	34,071	33,652	28,134	17,207	7,159	1,892
B/A %	10.07 %	3.32 %	4.10 %	4.81 %	6.68 %	8.46 %	10.11 %	11.44 %	12.38 %	13.35 %	13.95 %	14.25 %	14.04 %	14.55 %
C 精検受診者数	183,813	409	1,847	6,487	14,092	16,817	21,619	27,711	23,546	26,250	22,992	14,460	6,005	1,578
C/B %	67.28 %	54.46 %	60.96 %	58.54 %	59.21 %	57.03 %	57.79 %	60.84 %	69.11 %	78.00 %	81.72 %	84.04 %	83.88 %	83.40 %
D 胃癌	3,774	0	4	22	56	97	195	420	554	705	836	559	262	64
D/A %	0.139 %	0.000 %	0.005 %	0.010 %	0.016 %	0.028 %	0.053 %	0.105 %	0.201 %	0.280 %	0.415 %	0.463 %	0.514 %	0.492 %
非上皮性悪性腫瘍	101	2	0	4	3	8	8	13	13	17	19	11	2	1
胃腺腫(異型上皮)	885	0	1	7	11	37	42	87	131	188	188	122	69	2
胃ポリープ	21,379	40	220	882	1,803	1,712	2,097	2,777	2,724	3,364	2,975	1,764	732	289
胃潰瘍	29,212	25	220	788	2,022	3,099	4,192	5,451	3,996	3,753	2,933	1,822	701	210
その他の胃良性疾病	86,628	178	830	3,015	6,637	7,935	10,277	12,907	11,072	12,411	10,991	6,919	2,847	609
異常なし	47,528	227	1,253	3,532	5,167	4,856	5,622	6,721	5,231	5,466	4,781	3,065	1,274	333

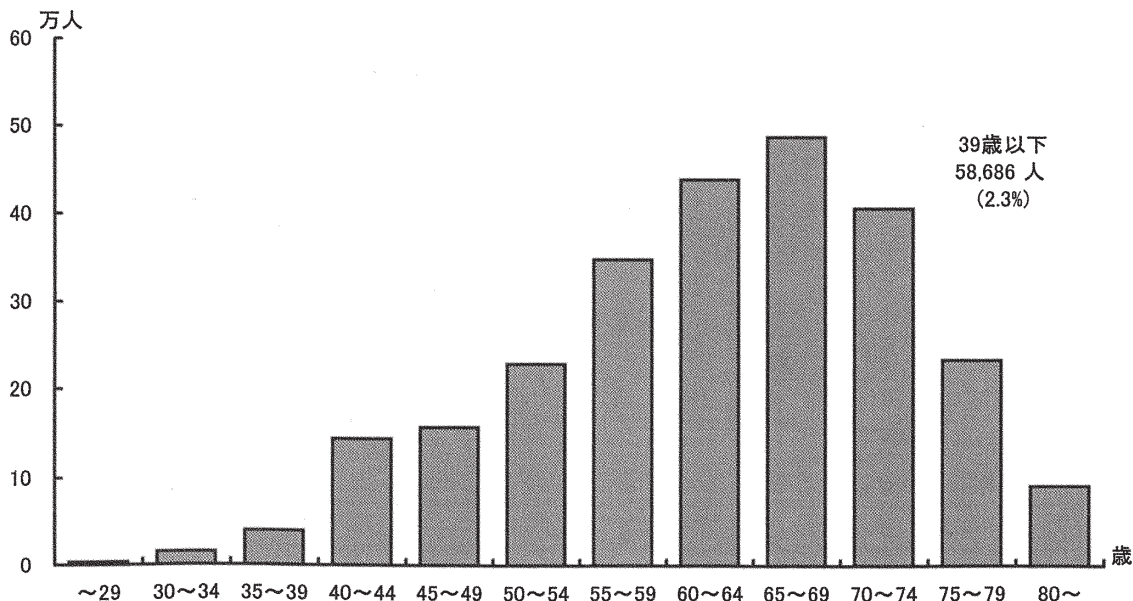
*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表7 性・年齢別胃集検全国集計成績—女性—直接・間接，地域職域集検合計（平成17年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 集検受診者数	2,363,070	12,517	38,825	116,764	243,483	251,019	299,242	369,890	321,454	298,741	229,642	123,466	43,708	14,319
B 要精検者数	183,440	391	1,455	5,279	14,746	16,550	21,336	27,856	26,314	26,884	22,813	13,246	5,019	1,551
B/A %	7.76 %	3.12 %	3.75 %	4.52 %	6.06 %	6.59 %	7.13 %	7.53 %	8.19 %	9.00 %	9.93 %	10.73 %	11.48 %	10.83 %
C 精検受診者数	147,941	238	1,072	3,969	10,783	12,016	18,055	21,909	21,920	23,033	19,849	11,542	4,200	1,355
C/B %	80.65 %	60.87 %	73.68 %	75.18 %	73.12 %	72.60 %	75.25 %	78.65 %	83.30 %	85.68 %	87.01 %	87.14 %	83.68 %	87.36 %
D 胃癌	1,492	1	4	12	39	62	111	160	210	268	283	220	98	24
D/A %	0.063 %	0.008 %	0.010 %	0.010 %	0.016 %	0.025 %	0.037 %	0.043 %	0.065 %	0.090 %	0.123 %	0.178 %	0.224 %	0.168 %
非上皮性悪性腫瘍	82	0	0	2	3	4	10	16	12	10	12	9	4	0
胃腺腫(異型上皮)	455	0	2	10	9	13	18	52	60	79	113	68	28	3
胃ポリープ	35,617	59	385	1,571	4,090	3,580	3,900	4,960	4,741	4,810	4,030	2,277	820	394
胃潰瘍	10,220	6	30	145	548	862	1,386	1,728	1,491	1,480	1,323	800	310	111
その他の胃良性疾病	60,551	85	311	1,121	3,246	4,240	6,154	9,180	9,529	10,152	8,830	5,291	1,938	474
異常なし	42,326	153	760	2,070	3,677	3,886	5,126	6,132	5,888	5,897	4,966	2,724	939	308

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

図6 地域検診の年齢階級別受診者数（平成17年度）（直接・間接，男女合計）



者が49.1%を占めていた。地域検診と職域検診との要精検率を比較すると，地域検診で10.2%，職域検診7.9%と，その差は少なかったのに対し，精

検受診率を比較してみると，各々79.3%と50.4%であり，両者に著しい差が認められ，職域検診の一次検診後の管理に依然として不備が感じられ

図7 職域検診の年齢階級別受診者数（平成17年度）（直接・間接，男女合計）

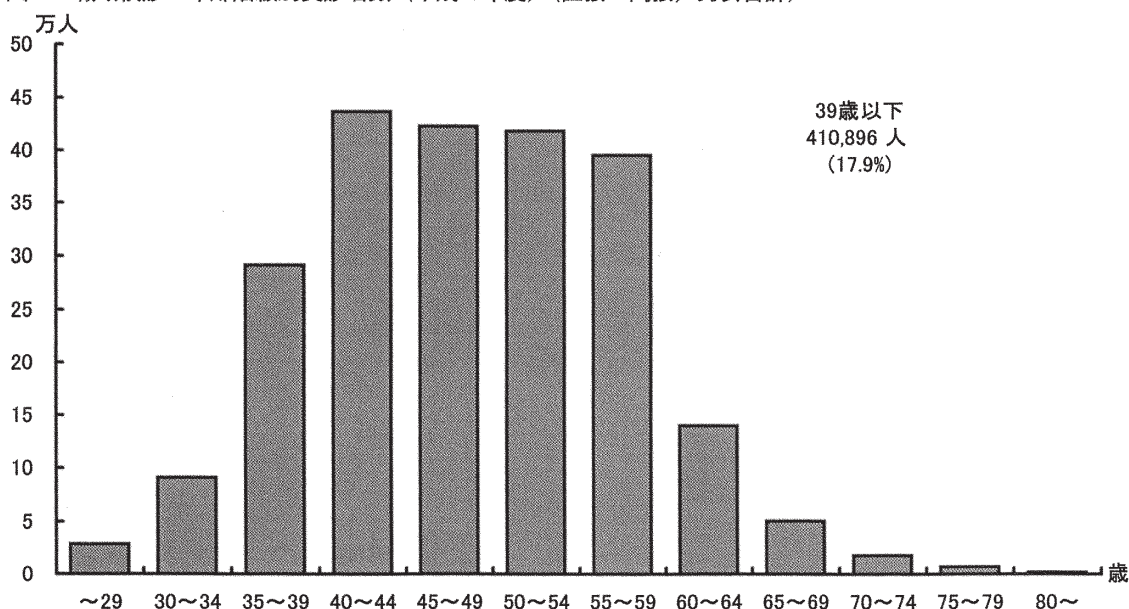


表8 発見疾患とその頻度（年次別推移）（男女計）

年度	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
胃疾患								
A	6,211	5,589	5,259	5,005	5,408	5,477	5,302	5,268
胃癌								
B	8,716	7,957	7,648	6,980	7,677	7,788	7,740	7,264
B/C	0.18	0.15	0.15	0.14	0.15	0.15	0.15	0.14
胃ポリープ								
A	60,622	53,610	54,588	52,938	55,688	56,970	57,874	57,831
B	85,073	76,320	79,390	73,823	79,057	81,004	84,488	79,745
B/C	1.74	1.48	1.54	1.51	1.53	1.58	1.65	1.55
胃潰瘍								
A	55,835	48,060	45,551	42,678	43,898	41,998	39,542	39,574
B	78,356	68,419	66,247	59,515	62,320	59,716	57,726	54,570
B/C	1.60	1.33	1.28	1.21	1.21	1.17	1.12	1.06
受診者総数	4,902,069	5,156,443	5,159,236	4,902,069	5,167,204	5,111,185	5,132,087	5,133,307

*性別、5歳階級別に集計可能な受診者数を母数とした

A:実数、B:要精検者が全員精検を受診した場合の推定数、C:受診者総数

表9 治療の種類（平成17年度）

総 数	3,968
外 科 手 術	2,725
腹腔鏡下手術	233
内視鏡的治療	888
化 学 療 法	71
無 治 療	26
そ の 他	25

表10 手術の種類（平成17年度）

総 数	2,910
切 除 術	2,883
ポリープ摘除術	3
吻 合 術	16
単 開 腹	7
造 瘻	1

た。その結果、後述する職域検診での39歳以下の若年受診者の占める割合が多いこととあいまっ

表11 根治度（平成17年度）

総 数	2,721
A	2,250
B	355
C	116

表12 癌病巣の数（平成17年度）

単 発	3,607
2 個	227
3 個	44
4個以上	14
合 計	3,892

表13 発見胃癌の占居部位 I（平成17年度）

部 位	病巣数	%
U	881	22.3
M	1,731	43.7
L	1,281	32.4
全 体	64	1.6
合 計	3,957	100.0

て、職域検診での胃癌発見率は0.035%と、地域検診の0.148%の4分の1であった（表3）。また間接集検について、地域と職域検診別に検討したものを表4に示した。

間接集検と直接集検を比較すると、受診者数は直接集検が1,380,982人、間接集検は4,520,049人であり、直接集検の3.3倍であった（表5）。要精検率は間接集検が9.2%、直接集検が8.0%と間接集検がやや高く、精検受診率は間接集検が68.6%、直接集検が57.5%と間接集検が高くなっており、胃癌発見率は間接集検が0.099%、直接集検が0.061%と間接集検が高かった。

6. 性・年齢階級別受診者数および疾患発見率 直接、間接、地域、職域集検を合計した性・年

表14 発見胃癌の占居部位 II（平成17年度）

部 位	病巣数	%
小 彎	1,460	37.6
大 彎	633	16.3
前 壁	706	18.2
後 壁	931	24.0
全 周	153	3.9
合 計	3,883	100.0

表15 発見胃癌の大きさ（平成17年度）

長径(cm)	病巣数	%
～1.0	637	18.2
1.1～2.0	850	24.3
2.1～5.0	1,464	41.9
5.1～	544	15.6
合 計	3,495	100.0

年齢階級別の受診者数を図5に示した。男の分布は女に比べ若年者が多かった。胃癌発見率は男で0.139%、女で0.063%、男が女の2倍以上の発見率であった。胃ポリープは男が0.79%、女が1.51%で、逆に女の方が1.9倍発見率は高かった。胃潰瘍は男が1.08%、女が0.43%で、男が2.5倍であった（表6、7）。

39歳以下の受診者は男女あわせて約49万人おり、これは全受診者数の9.8%を占めていた。これを地域と職域検診に分けてみると、地域検診では39歳以下は男女あわせて2.3%であった。一方、職域検診では39歳以下が17.9%と、若年層受診者の占める頻度は地域検診に比べ、7.8倍高かった（図6、7）。

7. 発見疾患の年次推移

表8は各胃疾患の発見率の年度別推移を表したものである。受診者総数（C）は、性別、5歳階級別に各疾患の発見数と頻度が算出可能なものを分母として算出した。表のうち、Aは発見実数、

表16 切除胃癌の深達度別頻度（平成17年度）

総数	M	SM	MP	SS	SE	SI
3,731 (100.0 %)	1,548 (41.4 %)	1,066 (28.6 %)	394 (10.6 %)	384 (10.3 %)	306 (8.2 %)	33 (0.9 %)
M + SM		MP + SS + SE + SI				
2,614 (70.0 %)		1,117 (30.0 %)				

表17 Stage 分類（平成17年度）

Stage	例 数	%
I A	2,013	60.1
I B	462	13.8
II	357	10.6
III A	216	6.4
III B	101	3.0
IV	206	6.1
計	3,355	100.0

Bは要精検者が全員精検を受診した場合の推定患者数で、B/Cは推定発見率である。平成17年度の推定発見率は、胃癌0.14%、胃ポリープ1.55%、胃潰瘍1.06%であった。年度別の変化をみると胃癌の発見率はほぼ一定であったが、胃潰瘍は漸減を示した。

8. 発見胃癌患者の追跡調査

1) 手術成績

集計個票が全国集計委員会に送られてきた発見胃癌の治療の種類をみると、外科手術は3,968例中2,725例(68.7%)、腹腔鏡下手術は233例(5.9%)、内視鏡的治療は888例(22.4%)に施行されていた。腹腔鏡下手術や内視鏡的治療の頻度は年々増加していた(表9)。手術の種類では2,910例中2,883例(99.1%)に切除術が施行され、根治度Aの切除は82.7%を占めていた(表10, 11)。多発癌は3,892例中285例(7.3%)を占めていた(表12)。

2) 占居部位

表18 肉眼分類（平成17年度）

肉眼分類	例 数	%
O型	2,743	70.0
1型	143	3.6
2型	422	10.8
3型	365	9.3
4型	141	3.6
5型	107	2.7
計	3,921	100.0

表19 O型（表在型）の亜分類（平成17年度）

肉眼分類	例 数	%
I	156	5.7
II a	457	16.7
II a+II c	343	12.5
II b	50	1.8
II c	1,429	52.2
II c+III	80	2.9
II c+II a	81	3.0
III+II c	15	0.5
III	12	0.4
その他の組み合わせ	94	3.4
不明	26	0.9
計	2,743	100.0

発見胃癌のUML区分でみた占居部位は、Uが22.3%、Mが43.7%、Lが32.4%であった(表13)。壁在性でみると小彎が37.6%で最も多く、次いで後壁が24.0%で、前年度とほぼ同様な傾向がみられた(表14)。

図8 発見胃癌例の集検受診歴と早期癌の頻度（平成17年度）

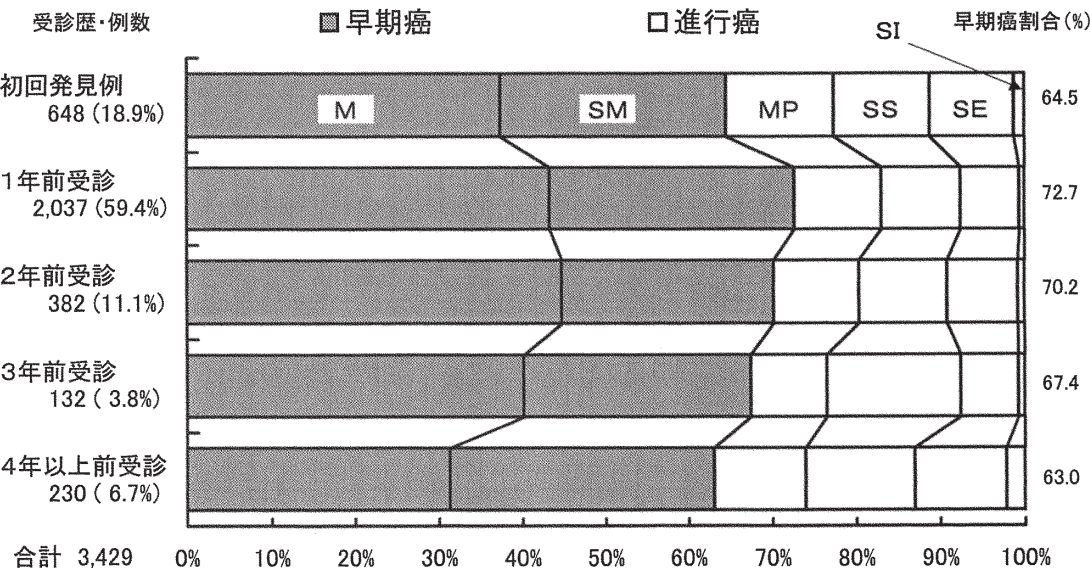


表20 内視鏡胃集検の全国集計成績（平成17年度）

受診者総数	121,816 人
男	64,016 人 (52.6%)
女	57,800 人 (47.4%)
発見疾患と発見率	
胃癌	364 (0.30%)
(うち早期癌 237名)	(0.19%)
胃潰瘍	4,976 (4.08%)
胃ポリープ	10,224 (8.39%)

(年間500人以上実施し、集計可能な機関についての集計)

表21 大腸集検全国集計対象機関の区分（平成17年度）

		機関数
I 群	性・年齢別に受診者、要精検者、精検受診者、発見大腸癌患者が把握され、且つ癌患者の個人票の揃っているもの	170
II 群	性・年齢別に集計されていないもの及び集計数のみ判明するもの	36
	計	206

3) 大きさ

長径1cm以下の小胃癌が18.2%，1.1～2.0cmが24.3%で，あわせて42.5%であった（表15）。

表22 大腸検診の対象（重複回答）（平成17年度）

地域	職域	個人	検診機関数
170 (82.5%)	148 (71.8%)	43 (20.9%)	206

表23 大腸検診の Screening の方法（平成17年度）

(1) 検便法	97 (47.1%)
(2) 検便法+問診	116 (56.3%)
(3) 直接法	8 (3.9%)
検診機関数	206

4) 切除胃癌の深達度別割合

切除胃癌の深達度別頻度をみると，M癌が41.4%，SM癌が28.6%，あわせて70.0%であり，検診発見胃癌の2／3は早期癌であった（表16）。

5) Stage 分類

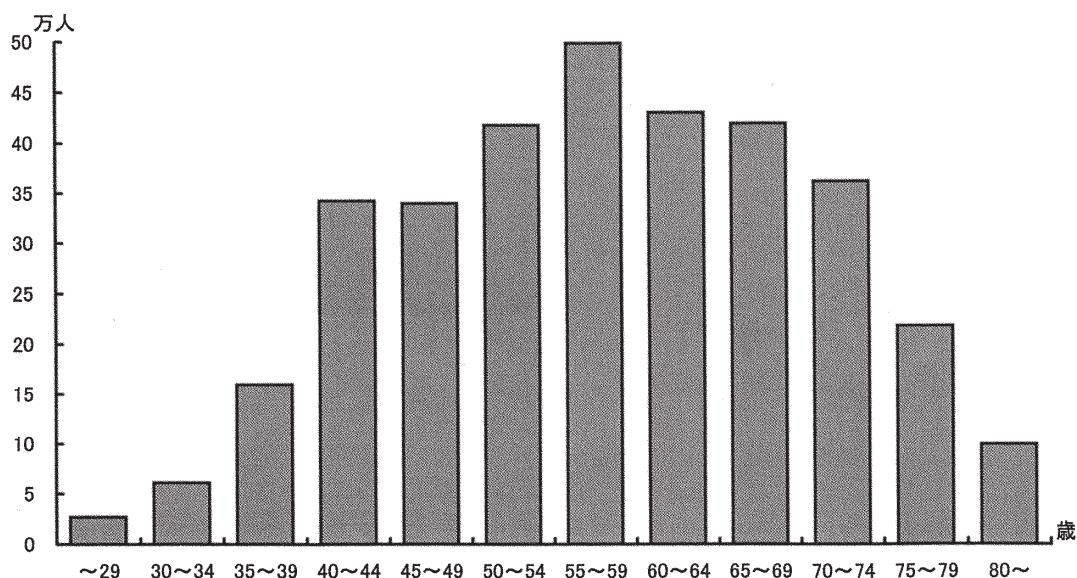
Stage I Aは60.1%と過半数を占めており，Stage IVは6.1%であった（表17）。

6) 肉眼分類

0型（表在型）が70.0%と最も多く，そのうち

表24 大腸検診成績（男女計，平成17年度）

	地域	職域	個人	計
(1)受診者数	2,339,868	1,552,685	172,894	4,065,447
(2)要精検者数 (2)÷(1) (%)	154,624 (6.6 %)	80,888 (5.2 %)	11,575 (6.7 %)	247,087 (6.1 %)
(3)精検受診者数 (3)÷(2) (%)	109,183 (70.6 %)	29,703 (36.7 %)	6,534 (56.4 %)	145,420 (58.9 %)
(4)大腸癌患者数 (4)÷(1) (%)	4,492 (0.192 %)	662 (0.043 %)	250 (0.145 %)	5,404 (0.133 %)

図9 大腸検診受診者数の年齢階級別分布
(地域，職域，個人，男女計，平成17年度，総数3,373,729名)

II c型が52.2%と過半数を占めた。4型は3.6%であった（表18，19）。

7) 発見胃癌例の集検受診前歴

受診前歴の記載された胃癌3,429例について，集検受診歴区分でみると，初回発見例が全胃癌のうち18.9%を占め，1年前受診例，即ち2年連続受診で発見されたものが59.4%を占めた（図8）。

各受診歴別に胃癌に占める早期胃癌の割合をみると，初回発見例が64.5%で，一年前，二年前，三年前，四年以上前受診群の早期胃癌の割合は

各々72.7%，70.2%，67.4%，63.0%であった。一年前に集検受診歴のある例では，集検受診歴のない例および4年以上前に受診歴のある例に対して，統計学的有意差をもって，早期癌を高率に認めた（図8）。

9. 内視鏡胃集検の全国集計成績

一次スクリーニングとして内視鏡を用いた，いわゆる内視鏡胃集検は，X線撮影法による胃集検のような受診者の性年齢区分をした詳細な集検成

図10 大腸検診の要精検率および精検受診率
(地域, 職域, 個人, 男女計, 平成17年度)

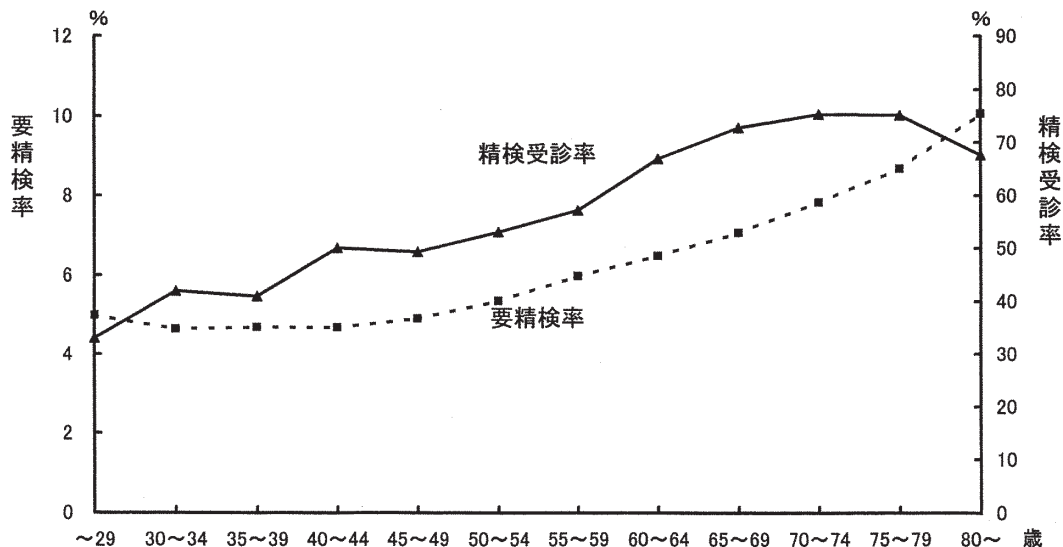
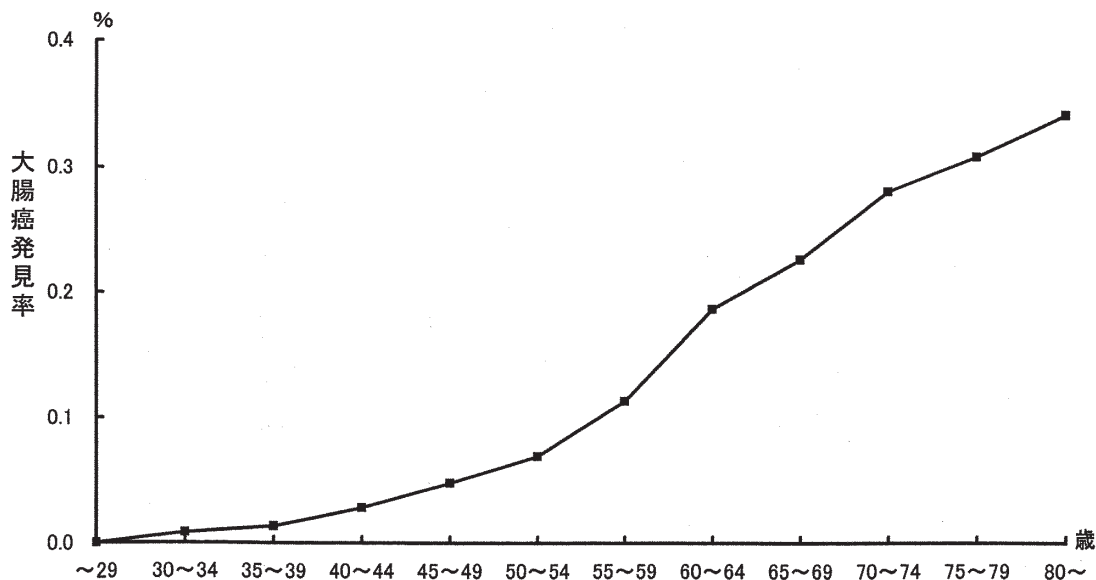


図11 大腸検診の大腸癌発見率
(地域, 職域, 個人, 男女計, 平成17年度)



績の回答は求めず、前年度と同様簡単な集計にとどめた。対象も前年度と同様に、年間500人以上の内視鏡胃集検を施行した機関のみに限定した。このような条件で集計すると、内視鏡集検の受診者

総数は121,816人、発見胃癌364例(発見率0.30%), うち早期癌は237例(65.1%)を占めた。発見率は高率であった(表20)。

図12 大腸検診における大腸ポリープ（腺腫）および非腺腫性ポリープの発見率
（地域，職域，個人，男女計，平成17年度）

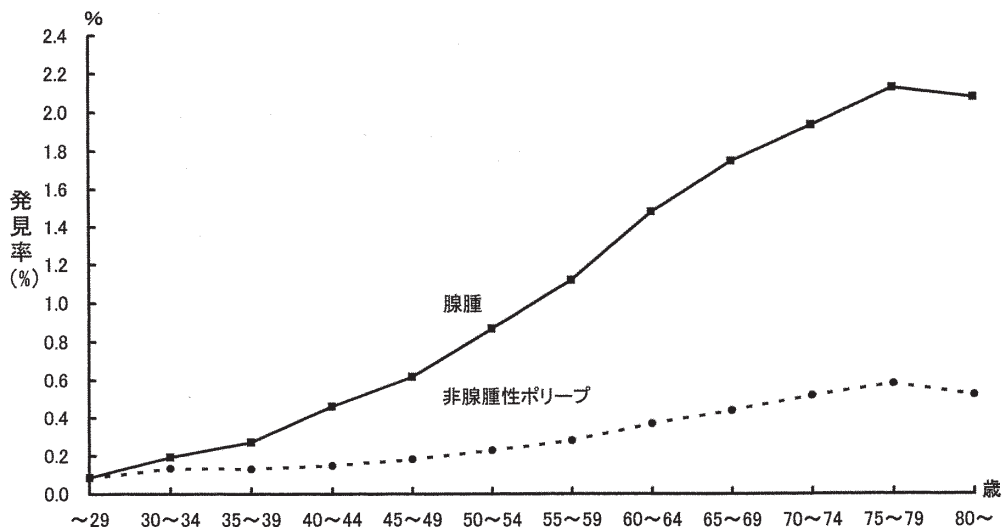


表25 大腸集検全国集計成績—男性—地域・職域，個人検診合計（平成17年度）

	総数	29以下	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80以上	70以上*
A 集検受診者数	1,663,510	15,739	37,205	98,662	193,224	187,557	213,013	236,100	182,654	180,779	159,006	101,183	47,315	10,073
B 要精検者数	120,715	659	1,525	4,461	9,081	9,994	13,448	17,594	15,462	16,133	15,459	10,258	5,327	1,314
B/A %	7.26 %	4.19 %	4.10 %	4.48 %	4.70 %	5.33 %	6.31 %	7.45 %	8.47 %	8.92 %	9.72 %	10.14 %	11.26 %	13.04 %
C 精検受診者数	70,471	221	651	1,765	4,292	4,519	6,251	8,733	9,254	11,155	11,292	7,618	3,721	999
C/B %	58.38 %	33.54 %	42.89 %	39.57 %	47.26 %	45.22 %	46.48 %	49.64 %	59.85 %	69.14 %	73.04 %	74.26 %	69.85 %	78.03 %
D 大腸癌	3,058	0	3	15	52	85	152	338	472	587	650	429	213	62
D/A %	0.184 %	0.000 %	0.008 %	0.015 %	0.027 %	0.045 %	0.071 %	0.143 %	0.258 %	0.325 %	0.409 %	0.424 %	0.450 %	0.616 %
カルチノイド	21	0	0	1	4	2	4	1	4	1	2	2	0	0
腺腫性ポリープ	26,592	15	76	323	1,109	1,501	2,512	3,660	3,935	4,545	4,320	2,812	1,243	541
非腺腫性ポリープ	6,586	13	48	148	302	391	595	841	920	1,101	1,112	758	345	12
潰瘍性大腸炎	394	6	14	29	64	42	39	40	25	40	37	32	12	4
クローン氏病	22	1	0	4	6	4	3	1	0	0	3	0	0	0
大腸憩室	4,852	7	23	81	256	285	400	579	627	782	848	584	301	79
その他良性疾患	7,232	41	118	289	659	482	657	810	849	1,047	1,091	741	388	60
異常なし	20,086	133	364	847	1,759	1,611	1,770	2,305	2,214	2,805	2,913	2,081	1,082	232

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

II 大腸集検全国集計

平成17年度に実施された大腸集検の全国集計調査に回答を寄せた機関は206ヵ所で、検診の統計をよく行っているI群の割合は82.5%であった（表21）。

1. 大腸検診の受診対象

大腸検診の受診対象は表22に示すように重複回答であるが、地域検診は82.5%，職域検診は71.8%，個人検診は20.9%で行われていた。

2. 大腸検診の実施方法

大腸検診のスクリーニングの方法は、検便法だ

けによるものが47.1%，検便法に問診を加えた方法が56.3%であった（表23）。

3. 大腸検診の成績

平成17年度に行われた全国の男女合計の受診者総数は4,065,447人で前年度に比べ約15万人（3.8%）増加していた。大腸癌発見数は5,404例（0.133%）であった。対象区分別にみると大腸癌の発見率は地域検診0.192%，職域検診0.043%，個人検診0.145%であった（表24）。

地域，職域，個人検診のうち，年齢が5歳階級別に報告された男女合計3,373,729人について年

表26 大腸集検全国集計成績—女性—地域・職域，個人検診合計（平成17年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 集検受診者数	1,734,135	10,970	23,844	59,682	149,207	152,285	204,623	262,242	247,589	238,709	202,560	116,661	51,920	13,843
B 要精検者数	93,022	674	1,310	3,017	6,970	6,719	8,894	12,148	12,424	13,426	12,803	8,651	4,653	1,333
B/A %	5.36 %	6.14 %	5.49 %	5.06 %	4.67 %	4.41 %	4.35 %	4.63 %	5.02 %	5.62 %	6.32 %	7.42 %	8.96 %	9.63 %
C 精検受診者数	63,790	220	540	1,304	3,757	3,735	5,601	8,259	9,409	10,358	10,001	6,597	3,029	980
C/B %	68.58 %	32.64 %	41.22 %	43.22 %	53.90 %	55.59 %	62.98 %	67.99 %	75.73 %	77.15 %	78.11 %	76.26 %	65.10 %	73.52 %
D 大腸癌	1,971	0	2	6	43	76	135	227	332	360	365	244	126	55
D/A %	0.114 %	0.000 %	0.008 %	0.010 %	0.029 %	0.050 %	0.066 %	0.087 %	0.134 %	0.151 %	0.180 %	0.209 %	0.243 %	0.397 %
カルチノイド	24	1	0	0	1	2	3	6	6	3	2	0	0	0
腺腫性ポリープ	15,240	8	42	111	470	603	1,112	1,921	2,437	2,791	2,680	1,826	819	420
非腺腫性ポリープ	4,316	9	34	59	208	231	360	559	675	732	759	511	173	6
潰瘍性大腸炎	380	3	10	15	33	27	36	46	49	54	51	24	18	14
クローン氏病	13	0	1	2	1	2	4	3	0	0	0	0	0	0
大腸憩室	4,040	6	17	43	136	154	312	511	603	652	711	524	281	90
その他良性疾患	8,426	37	80	221	603	545	787	1,091	1,222	1,317	1,261	794	368	100
異常なし	27,462	147	345	817	2,147	1,990	2,691	3,686	3,846	4,176	3,870	2,450	1,014	281

*70歳以上をさらに年齢区分していないもの

表27 地域大腸集検全国集計成績—男性—（平成17年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 集検受診者数	778,879	1,535	3,910	7,574	31,952	38,029	55,316	79,629	118,501	152,775	143,411	93,421	42,764	10,062
B 要精検者数	68,211	71	163	392	1,861	2,252	3,798	6,260	10,115	13,863	13,988	9,471	4,864	1,313
B/A %	8.76 %	4.63 %	4.17 %	5.18 %	5.82 %	5.92 %	6.87 %	7.86 %	8.54 %	9.04 %	9.75 %	10.14 %	11.37 %	13.05 %
C 精検受診者数	48,057	36	93	215	1,076	1,341	2,258	3,933	7,018	9,932	10,512	7,174	3,470	999
C/B %	70.45 %	50.70 %	57.06 %	54.85 %	57.82 %	59.65 %	59.45 %	62.83 %	69.38 %	72.69 %	75.15 %	75.75 %	71.34 %	76.09 %
D 大腸癌	2,463	0	0	4	17	35	69	178	376	530	596	398	198	62
D/A %	0.316 %	0.000 %	0.000 %	0.053 %	0.053 %	0.092 %	0.125 %	0.224 %	0.317 %	0.347 %	0.416 %	0.426 %	0.463 %	0.616 %
カルチノイド	12	0	0	0	0	2	1	1	3	1	2	2	0	0
腺腫性ポリープ	18,598	1	8	40	244	429	881	1,523	2,966	4,067	4,058	2,663	1,177	541
非腺腫性ポリープ	4,683	3	7	13	93	119	225	397	703	994	1,062	727	328	12
潰瘍性大腸炎	192	2	3	5	14	14	13	14	21	36	34	23	9	4
クローン氏病	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0
大腸憩室	3,439	1	2	12	72	82	134	253	460	702	792	560	290	79
その他良性疾患	4,666	9	21	37	157	127	212	381	642	934	1,018	705	363	60
異常なし	12,858	20	52	91	420	445	632	1,091	1,691	2,475	2,726	1,966	1,017	232

*70歳以上をさらに年齢区分していないもの

表28 地域大腸集検全国集計成績—女性—（平成17年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 集検受診者数	1,291,861	1,978	6,880	15,062	76,887	79,416	125,435	189,089	216,256	221,146	190,520	109,604	45,761	13,827
B 要精検者数	72,295	136	427	779	3,833	3,579	5,622	8,828	10,868	12,508	12,065	8,178	4,142	1,330
B/A %	5.60 %	6.88 %	6.21 %	5.17 %	4.99 %	4.51 %	4.48 %	4.67 %	5.03 %	5.66 %	6.33 %	7.46 %	9.05 %	9.62 %
C 精検受診者数	54,369	81	245	482	2,452	2,372	4,050	6,698	8,568	9,811	9,536	6,318	2,777	979
C/B %	75.20 %	59.56 %	57.38 %	61.87 %	63.97 %	66.28 %	72.04 %	75.87 %	78.84 %	78.44 %	79.04 %	77.26 %	67.04 %	73.61 %
D 大腸癌	1,755	0	0	5	32	48	101	180	297	346	350	230	111	55
D/A %	0.136 %	0.000 %	0.000 %	0.033 %	0.042 %	0.060 %	0.081 %	0.095 %	0.137 %	0.156 %	0.184 %	0.210 %	0.243 %	0.398 %
カルチノイド	16	1	0	0	0	0	1	3	6	3	2	0	0	0
腺腫性ポリープ	13,417	2	22	49	314	391	785	1,530	2,223	2,630	2,542	1,744	766	419
非腺腫性ポリープ	3,793	4	13	16	145	153	244	472	622	703	746	501	168	6
潰瘍性大腸炎	301	0	5	8	22	17	29	37	46	46	45	19	13	14
クローン氏病	4	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0
大腸憩室	3,653	4	7	15	86	103	238	435	554	634	691	518	278	90
その他良性疾患	7,209	13	38	86	386	336	589	887	1,131	1,275	1,231	782	355	100
異常なし	23,051	55	159	285	1,396	1,251	1,954	3,015	3,520	4,007	3,752	2,401	975	281

*70歳以上をさらに年齢区分していないもの

年齢頻度を検討すると、受診者数の年齢分布は50歳代と60歳代が合わせて52.3%と過半数を占めた。39歳以下は7.3%、また70歳以上は20.1%を占めた(図9)。要精検率をみると、ほぼ加齢に伴って上昇していた。精検受診率は、胃集検に比較して低い傾向がみられた(図10)。

大腸癌発見率は加齢とともに上昇していた。とくに、70歳代の発見率は、全年齢層の平均の2.0倍であった(図11)。大腸腺腫の発見率は1.2%で、これは大腸癌の8.3倍の頻度であり、発見率は加齢とともに上昇していた。非腺腫性ポリープの発見率は0.32%で、大腸癌の2.2倍の発見率であった

表29 検診発見大腸癌の受診前歴
(男女計, 平成17年度)

初回受診者	1,234 名	(32.3 %)
1年前 "	1,869 名	(49.0 %)
2年前 "	328 名	(8.6 %)
3年前 "	141 名	(3.7 %)
4年以上前 "	243 名	(6.4 %)
計	3,815 名	(100.0 %)

表30 治療の方法
(男女計, 平成17年度)

外科手術	1,863	(46.1 %)
腹腔鏡下手術	330	(8.2 %)
内視鏡的ポリペクトミー	1,062	(26.2 %)
内視鏡的粘膜切除 (粘膜下層剥離術)	703	(17.4 %)
無治療	14	(0.3 %)
その他	74	(1.8 %)
計	4,046	(100.0 %)

表31 手術の種類
(男女計, 平成17年度)

結腸切除	1,409	(69.6 %)
直腸切除	522	(25.8 %)
直腸切断 (人工肛門造設)	62	(3.1 %)
その他	31	(1.5 %)
計	2,024	(100.0 %)

(図12)。

性・年齢階級別の大腸集検全国集計成績を表25, 26に示した。受診者のピークは男女とも50歳代後半であった。大腸癌発見率は男0.184%, 女0.114%であった。

地域住民を対象とした大腸集検の全国集計成績を, 表27, 28に示した。受診者のピークは男女とも60歳代後半であった。大腸癌発見率は男0.316%, 女0.136%と高率であった。

表32 癌病巣の数
(男女計, 平成17年度)

単発	3,679	(93.6 %)
2個	199	(5.1 %)
3個	30	(0.8 %)
4個以上	19	(0.5 %)
計	3,927	(100.0 %)

表33 癌病巣の部位
(男女計, 平成17年度)

部 位	例 数
肛 門 管 (P)	9 (0.2 %)
直 腸 (R)	1,197 (29.9 %)
S 状結腸 (S)	1,323 (33.1 %)
下行結腸 (D)	258 (6.4 %)
横行結腸 (T)	404 (10.1 %)
上行結腸 (A)	577 (14.4 %)
盲 腸 (C)	235 (5.9 %)
虫 垂 (V)	1 (0.0 %)
計	4,004 (100.0 %)

表34 肉眼分類
(男女計, 平成17年度)

0型	2,350	(59.5 %)
1型	303	(7.7 %)
2型	1,146	(29.1 %)
3型	120	(3.0 %)
4型	6	(0.2 %)
5型	18	(0.5 %)
計	3,943	(100.0 %)

4. 発見大腸癌の追跡調査成績

1) 集計個票の送られてきた集検発見大腸癌のうち, 32.3%は初回受診者, 49.0%は1年前受診者

表35 O型（表在型）の肉眼分類
（男女計，平成17年度）

I p	582	(24.8 %)
I sp	774	(32.8 %)
I s	335	(14.3 %)
II a	342	(14.6 %)
II a+II c	149	(6.3 %)
II b	6	(0.3 %)
II c	34	(1.4 %)
III	5	(0.2 %)
その他	56	(2.4 %)
不明	67	(2.9 %)
計	2,350	(100.0 %)

表36 大腸癌の大きさ（長径）
（男女計，平成17年度）

大きさ(cm)	病巣数	
～1.0	1,015	(28.0 %)
1.1～2.0	1,087	(30.0 %)
2.1～5.0	1,248	(34.5 %)
5.1～	272	(7.5 %)
計	3,622	(100.0 %)

であった（表29）。

2) 治療の方法

外科手術は1,863例（46.1%），腹腔鏡下手術は330例（8.2%），内視鏡的ポリペクトミーは1,062例（26.2%），内視鏡的粘膜切除（粘膜下層剥離術）は703例（17.4%）に行われた（表30）。

3) 手術の種類

手術のうち，結腸切除術が1,409例（69.6%），直腸切除術が522例（25.8%），人工肛門を造設した直腸切断術は62例（3.1%）であった（表31）。

4) 癌病巣の数

単発は3,679例（93.6%），多発は248例（6.4%）

表37 大腸癌の環周度
（男女計，平成17年度）

1/3 以下	2,090	(65.5 %)
1/2 以下	477	(14.9 %)
3/4 以下	240	(7.5 %)
3/4 以上	184	(5.8 %)
全 周	201	(6.3 %)
計	3,192	(100.0 %)

表38 大腸癌の Stage 分類
（男女計，平成17年度）

Stage O	1,024	(33.7 %)
Stage I	873	(28.8 %)
Stage II	475	(15.7 %)
Stage III a	403	(13.3 %)
Stage III b	134	(4.4 %)
Stage IV	125	(4.1 %)
計	3,034	(100.0 %)

表39 大腸癌の深達度
（男女計，平成17年度）

m	1,686	(43.3 %)
sm	738	(18.9 %)
mp	426	(10.9 %)
ss (a1)	791	(20.3 %)
se (a2)	227	(5.8 %)
si (ai)	30	(0.8 %)
計	3,898	(100.0 %)

であった（表32）。

5) 占居部位

発見大腸癌の占居部位は4,004例中，最も多いのがS状結腸で1,323例（33.1%），ついで直腸の1,197例（29.9%）であり（表33），両者で2／3

表40 大腸癌の Dukes 分類
(男女計, 平成17年度)

Dukes A	2,117	(68.8 %)
Dukes B	355	(11.5 %)
Dukes C	607	(19.7 %)
計	3,079	(100.0 %)

表41 転移の有無
(男女計, 平成17年度)

	a. リンパ節転移	b. 遠隔転移
なし	2,332 (79.3 %)	2,906 (96.1 %)
あり	607 (20.7 %)	117 (3.9 %)
計	2,939 (100.0 %)	3,023 (100.0 %)

表42 大腸癌の組織型分類
(男女計, 平成17年度)

高分化腺癌 (well)	2,585	(69.8 %)
中分化腺癌 (mod)	992	(26.8 %)
低分化腺癌 (poor)	60	(1.6 %)
未分化癌 (undiff)	5	(0.1 %)
粘液癌 (muc)	39	(1.1 %)
印環細胞癌 (sig)	3	(0.1 %)
その他	18	(0.5 %)
計	3,702	(100.0 %)

表43 食道集検の全国集計成績 (平成17年度)

受診者総数	553,208 人
男	349,112 人 (63.1 %)
女	204,096 人 (36.9 %)
発見疾患と発見率	
食道癌	58 名 (0.01 %)
食道ポリープ	679 名 (0.12 %)
食道炎	6,005 名 (1.09 %)
バレット潰瘍	117 名 (0.02 %)
静脈瘤	164 名 (0.03 %)
その他の疾患	7,852 名 (1.42 %)

表44 肝胆膵集検の全国集計成績 (平成17年度)

受診者総数	852,002 人
男	499,724 人 (58.7 %)
女	352,278 人 (41.3 %)
発見疾患と発見率	
肝癌(原発性)	101 名 (0.012 %)
肝癌(転移性)	26 名 (0.003 %)
肝硬変症	397 名 (0.05 %)
脂肪肝	154,325 名 (18.1 %)
肝嚢胞	77,805 名 (9.1 %)
胆嚢癌	17 名 (0.002 %)
胆嚢ポリープ	84,817 名 (10.0 %)
胆石症	27,994 名 (3.3 %)
膵癌	39 名 (0.005 %)
膵石症	277 名 (0.033 %)
膵嚢胞	3,402 名 (0.40 %)
腎癌	117 名 (0.014 %)

を占めた。

6) 大腸癌の肉眼分類

0型が2,350例 (59.5%) と最も多くみられた。そのうち I s p 型が774例 (32.8%) で、II c 型は34例 (1.4%) のみであった。また 2 型が1,146例 (29.1%) と多く、4 型は6 例 (0.2%) のみであった (表34, 35)。

7) 大きさと環周度

直径1.0cm 以下のもの1,015例 (28.0%), 1.1~2.0cmが1,087例 (30.0%) と 2 cm 以下が過半数を占めた (表36)。環周度は 1 / 3 以下が2,090

例 (65.5%) で 2 / 3 を占め、全周性が201例 (6.3 %) に認められた (表37)。

8) Stage 分類

Stage 0 と Stage I で1,897例 (62.5%) と約 2 / 3 を占めた。Stage IVは125例 (4.1%) であった (表38)。

9) 深達度分類

m は1,686例 (43.3%), sm は738例 (18.9%) であり、合計で62.2%と早期癌が全体の 2 / 3 を占めた。進行癌を深達度別にみると、mp426例 (10.9%), ss (a 1) 791例 (20.3%), se (a 2) 227例 (5.8%), si (ai) 30例 (0.8%) であった (表

39)。

10) Dukes 分類

Dukes Aは2,117例 (68.8%) であった (表40)。

11) 転移の有無

リンパ節転移ありは2,939例中607例 (20.7%) であった。遠隔転移ありは3,023例中117例 (3.9%) であった (表41)。

12) 組織型分類

病理組織検査を行った3,702例中、高分化腺癌が2,585例 (69.8%) で最も多く、ついで、中分化腺癌が992例 (26.8%) であった (表42)。

Ⅲ 食道集検および肝胆膵集検全国集計

1. 食道集検

食道集検の受診者総数は553,208人であった。また、発見食道癌は58例 (0.01%)、食道ポリープ679例 (0.12%)、食道炎6,005例 (1.09%) であった (表43)。

2. 肝胆膵集検

肝胆膵集検の受診者総数は852,002人であった。発見疾患は、脂肪肝18.1%、胆嚢ポリープ10.0%、肝嚢胞9.1%、胆石症3.3%であり、少数例ではあるが肝硬変症397例 (0.05%)、原発性肝癌101例 (0.012%)、転移性肝癌26例 (0.003%)、胆嚢癌17例 (0.002%)、膵癌39例 (0.005%)、腎癌117例 (0.014%) が発見された (表44)。

Ⅳ まとめ

平成17年度の消化器がん検診全国集計について

要約すると以下ようになる。

(1)胃集検については、受診者総数が5,901,031人で、前年度比+0.7%、約4万人の増加、発見胃癌は5,338例 (発見率0.090%) であった。地域集検は、全体の49.1%の約280万人であった。

(2)大腸集検は全国で4,065,447人、前年度比+3.8%、約15万人の増加、発見大腸癌5,404例 (発見率0.13%) であった。

なお、アンケートの回答をおよせいただいた全国の検診機関、および学会の役職員や事務局の方々、各県の全国集計協力委員、認定医の先生方の絶大な協力に対して厚く御礼申し上げます。

Ⅴ 補足「各支部・都道府県別検診成績」

表45 (次頁)

「平成16年度消化器がん検診全国集計資料集」にはすでに掲載していましたが、今回より、学会誌の「委員会報告」にも、各支部と都道府県別の検診成績を載せることにしました。各支部および、都道府県によるバラツキが明瞭と思います。集計数「0」の県は、本集計に、全く協力いただいていないという現況で、全国の対がん協会発表の数値より低い県と併せて、本集計作業の問題点が残されていると思います。今後、できるだけ多くの施設のご協力を得て、さらに精度の高い集計をしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

表45
胃集検

		受診者数	要 精検者数	精検 受診者数	胃癌 発見数	D票 回収数	要 精検率	精検 受診率	胃癌 発見率	的中度	D票 回収率
全 国		5,901,031	526,869	349,093	5,350	4,225	8.93	66.3	0.091	1.02	79.0
支 部 別	北海道	408,491	33,373	23,714	412	403	8.17	71.1	0.101	1.23	97.8
	東 北	1,022,383	99,503	75,387	1,308	1,217	9.73	75.8	0.128	1.31	93.0
	関東甲信越	1,496,187	129,956	77,086	1,359	855	8.69	59.3	0.091	1.05	62.9
	東海北陸	821,604	81,302	44,379	566	361	9.90	54.6	0.069	0.70	63.8
	近 畿	698,056	59,519	42,042	475	396	8.53	70.6	0.068	0.80	83.4
	中国四国	474,974	40,084	28,531	419	304	8.44	71.2	0.088	1.05	72.6
	九 州	979,336	83,132	57,954	811	689	8.49	69.7	0.083	0.98	85.0
北海道	北海道	408,491	33,373	23,714	412	403	8.17	71.1	0.101	1.23	97.8
東 北	青 森	118,049	10,442	7,657	108	108	8.85	73.3	0.091	1.03	100.0
	岩 手	154,673	13,034	10,352	171	157	8.43	79.4	0.111	1.31	91.8
	秋 田	82,304	10,541	7,899	131	110	12.81	74.9	0.159	1.24	84.0
	宮 城	295,441	24,700	18,315	437	419	8.36	74.1	0.148	1.77	95.9
	山 形	211,503	22,375	16,746	259	259	10.58	74.8	0.122	1.16	100.0
	福 島	160,413	18,411	14,418	202	164	11.48	78.3	0.126	1.10	81.2
関 東 甲 信 越	茨 城	142,659	16,127	11,675	221	204	11.30	72.4	0.155	1.37	92.3
	群 馬	108,092	10,339	7,672	134	108	9.57	74.2	0.124	1.30	80.6
	栃 木	80,216	5,471	3,669	91	78	6.82	67.1	0.113	1.66	85.7
	埼 玉	10,119	579	15	0	0	5.72	2.6	0.000	0.00	0.0
	千 葉	182,818	18,261	13,942	197	19	9.99	76.3	0.108	1.08	9.6
	東 京	289,791	20,443	8,528	156	135	7.05	41.7	0.054	0.76	86.5
	神奈川	286,155	26,738	8,272	95	83	9.34	30.9	0.033	0.36	87.4
	山 梨	78,518	6,596	4,161	63	51	8.40	63.1	0.080	0.96	81.0
	長 野	106,738	12,897	9,338	94	18	12.08	72.4	0.088	0.73	19.1
	新 潟	211,081	12,505	9,814	308	159	5.92	78.5	0.146	2.46	51.6
東 海 北 陸	富 山	68,963	6,467	4,656	92	66	9.38	72.0	0.133	1.42	71.7
	石 川	57,816	6,148	4,719	85	78	10.63	76.8	0.147	1.38	91.8
	福 井	29,826	3,482	2,602	32	32	11.67	74.7	0.107	0.92	100.0
	静 岡	168,533	15,515	8,873	74	51	9.21	57.2	0.044	0.48	68.9
	愛 知	309,844	30,726	15,769	197	73	9.92	51.3	0.064	0.64	37.1
	三 重	78,618	8,016	1,281	19	13	10.20	16.0	0.024	0.24	68.4
	岐 阜	108,004	10,948	6,479	67	48	10.14	59.2	0.062	0.61	71.6

胃集検		受診者数	要 精検者数	精検 受診者数	胃癌 発見数	D票 回収数	要 精検率	精検 受診率	胃癌 発見率	的中度	D票 回収率
近畿	滋 賀	46,421	3,867	1,938	38	14	8.33	50.1	0.082	0.98	36.8
	奈 良	6,809	654	432	7	5	9.60	66.1	0.103	1.07	71.4
	京 都	40,036	6,372	0	0	4	15.92	0.0	0.000	0.00	0.0
	大 阪	342,095	25,233	24,115	221	173	7.38	95.6	0.065	0.88	78.3
	和歌山	28,952	3,363	1,706	26	17	11.62	50.7	0.090	0.77	65.4
	兵 庫	233,743	20,030	13,851	183	183	8.57	69.2	0.078	0.91	100.0
中国四国	鳥 取	23,319	1,960	1,483	31	26	8.41	75.7	0.133	1.58	83.9
	島 根	41,625	3,443	2,170	33	32	8.27	63.0	0.079	0.96	97.0
	岡 山	92,476	5,718	3,234	37	6	6.18	56.6	0.040	0.65	16.2
	広 島	76,603	6,611	4,512	80	64	8.63	68.2	0.104	1.21	80.0
	山 口	44,725	4,129	2,545	47	0	9.23	61.6	0.105	1.14	0.0
	香 川	30,298	2,725	2,433	38	38	8.99	89.3	0.125	1.39	100.0
	徳 島	31,979	2,747	2,092	31	30	8.59	76.2	0.097	1.13	96.8
	愛 媛	73,586	7,468	5,804	62	53	10.15	77.7	0.084	0.83	85.5
	高 知	60,363	5,283	4,258	60	55	8.75	80.6	0.099	1.14	91.7
九州	福 岡	407,472	27,881	16,422	290	224	6.84	58.9	0.071	1.04	77.2
	佐 賀	39,831	5,677	4,733	59	59	14.25	83.4	0.148	1.04	100.0
	長 崎	39,776	3,634	2,977	33	25	9.14	81.9	0.083	0.91	75.8
	熊 本	140,357	15,373	10,463	129	129	10.95	68.1	0.092	0.84	100.0
	大 分	100,167	7,788	5,885	72	50	7.78	75.6	0.072	0.92	69.4
	宮 崎	46,608	4,397	3,713	49	43	9.43	84.4	0.105	1.11	87.8
	鹿児島	134,196	11,170	9,279	141	131	8.32	83.1	0.105	1.26	92.9
	沖 縄	70,929	7,212	4,482	38	28	10.17	62.1	0.054	0.53	73.7

大腸集検		受診者数	要 精検者数	精検 受診者数	大腸癌 発見数	D票 回収数	要 精検率	精検 受診率	大腸癌 発見率	の中度	D票 回収率
全 国		4,065,447	247,087	145,420	5,414	4,181	6.08	58.9	0.133	2.19	77.2
支 部 別	北海道	214,880	15,929	12,110	367	356	7.41	76.0	0.171	2.30	97.0
	東 北	817,907	47,401	32,142	1,216	1,112	5.80	67.8	0.149	2.57	91.4
	関東甲信越	870,509	54,414	27,172	1,156	631	6.25	49.9	0.133	2.12	54.6
	東海北陸	531,729	30,186	15,865	556	403	5.68	52.6	0.105	1.84	72.5
	近 畿	503,750	27,492	13,973	613	528	5.46	50.8	0.122	2.23	86.1
	中国四国	310,114	16,099	10,100	363	220	5.19	62.7	0.117	2.25	60.6
	九 州	816,558	55,566	34,058	1,143	931	6.80	61.3	0.140	2.06	81.5
北海道	北海道	214,880	15,929	12,110	367	356	7.41	76.0	0.171	2.30	97.0
東 北	青 森	116,631	3,578	2,281	91	91	3.07	63.8	0.078	2.54	100.0
	岩 手	159,195	9,102	6,063	342	338	5.72	66.6	0.215	3.76	98.8
	秋 田	82,598	5,089	3,165	124	122	6.16	62.2	0.150	2.44	98.4
	宮 城	94,904	3,868	3,325	184	175	4.08	86.0	0.194	4.76	95.1
	山 形	216,863	13,156	8,533	255	221	6.07	64.9	0.118	1.94	86.7
	福 島	147,716	12,608	8,775	220	165	8.54	69.6	0.149	1.74	75.0
関 東 甲 信 越	茨 城	150,296	10,702	7,440	260	245	7.12	69.5	0.173	2.43	94.2
	群 馬	50,480	2,791	1,789	103	81	5.53	64.1	0.204	3.69	78.6
	栃 木	81,039	4,526	2,413	95	58	5.58	53.3	0.117	2.10	61.1
	埼 玉	0	0	0	0	0	0.00	0.0	0.000	0.00	0.0
	千 葉	0	0	0	0	0	0.00	0.0	0.000	0.00	0.0
	東 京	124,165	8,975	4,172	204	142	7.23	46.5	0.164	2.27	69.6
	神奈川	259,914	14,183	3,950	184	74	5.46	27.9	0.071	1.30	40.2
	山 梨	19,944	1,437	455	14	0	7.21	31.7	0.070	0.97	0.0
	長 野	119,391	7,732	4,140	97	22	6.48	53.5	0.081	1.25	22.7
	新 潟	65,280	4,068	2,813	199	9	6.23	69.1	0.305	4.89	4.5
東 海 北 陸	富 山	27,389	1,950	1,444	68	53	7.12	74.1	0.248	3.49	77.9
	石 川	52,732	3,323	2,320	77	71	6.30	69.8	0.146	2.32	92.2
	福 井	33,212	1,586	1,171	71	57	4.78	73.8	0.214	4.48	80.3
	静 岡	129,683	8,075	3,892	123	96	6.23	48.2	0.095	1.52	78.0
	愛 知	183,171	10,000	4,889	136	62	5.46	48.9	0.074	1.36	45.6
	三 重	58,645	3,134	1,064	44	33	5.34	34.0	0.075	1.40	75.0
	岐 阜	46,897	2,118	1,085	37	31	4.52	51.2	0.079	1.75	83.8

大腸集検		受診者数	要 精検者数	精検 受診者数	大腸癌 発見数	D票 回収数	要 精検率	精検 受診率	大腸癌 発見率	の中度	D票 回収率
近畿	滋賀	61,418	4,580	3,119	188	188	7.46	68.1	0.306	4.10	100.0
	奈良	0	0	0	0	0	0.00	0.0	0.000	0.00	0.0
	京都	49,475	1,829	0	0	0	3.70	0.0	0.073	1.97	0.0
	大阪	235,820	12,952	6,326	238	208	5.49	48.8	0.101	1.84	87.4
	和歌山	0	0	0	0	0	0.00	0.0	0.000	0.00	0.0
	兵庫	157,037	8,131	4,528	151	132	5.18	55.7	0.096	1.86	87.4
中国四国	鳥取	26,619	1,580	1,048	47	36	5.94	66.3	0.177	2.97	76.6
	島根	41,493	1,767	452	34	32	4.26	25.6	0.082	1.92	94.1
	岡山	42,586	2,569	1,937	80	0	6.03	75.4	0.188	3.11	0.0
	広島	0	0	0	0	0	0.00	0.0	0.000	0.00	0.0
	山口	0	0	0	0	0	0.00	0.0	0.000	0.00	0.0
	香川	16,397	1,030	771	18	18	6.28	74.9	0.110	1.75	100.0
	徳島	31,507	1,693	1,121	36	34	5.37	66.2	0.114	2.13	94.4
	愛媛	93,127	5,596	3,726	87	48	6.01	66.6	0.093	1.55	55.2
	高知	58,385	1,864	1,045	61	52	3.19	56.1	0.104	3.27	85.2
九州	福岡	347,195	21,469	10,796	408	317	6.18	50.3	0.118	1.90	77.7
	佐賀	43,980	4,351	3,085	85	85	9.89	70.9	0.193	1.95	100.0
	長崎	41,391	2,945	2,096	81	65	7.12	71.2	0.196	2.75	80.2
	熊本	124,590	7,620	5,593	174	174	6.12	73.4	0.140	2.28	100.0
	大分	100,893	8,335	5,066	142	98	8.26	60.8	0.141	1.70	69.0
	宮崎	16,993	1,452	1,135	23	17	8.54	78.2	0.135	1.58	73.9
	鹿児島	63,014	4,549	3,381	115	107	7.22	74.3	0.182	2.53	93.0
	沖縄	78,502	4,845	2,906	115	68	6.17	60.0	0.146	2.37	59.1